

# 在宅取組型(小学校)

学校名等	大垣市立中川小学校
実施日時	令和2年12月～令和3年1月(冬休みの期間)
会場	各家庭
参加人数	全校児童(806名)・保護者
学習課題(分野)	冬休みふれあいハグ週間(家族の大切さ)
運営者の願い	冬休み期間中、親子でハグをしたり、あたたかい言葉をかけ合ったりして、親子のふれあいを増やしてほしい。

## 学習の内容

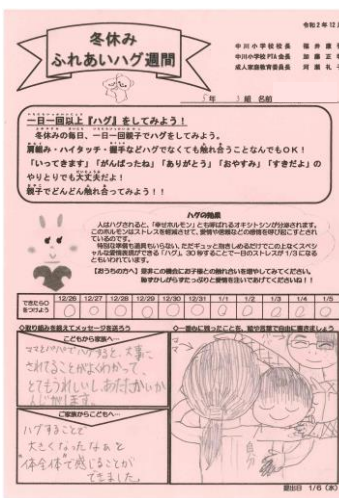
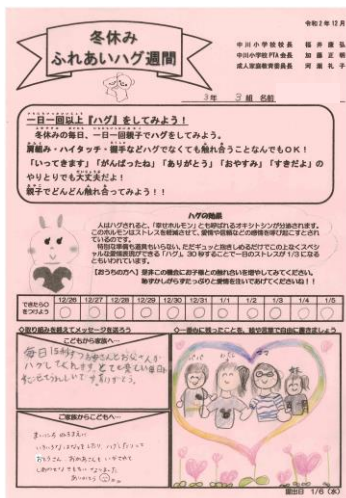
### <取組の流れ>

- 12月:取組について、保護者に依頼文書とともに、カードを配付する。期間は、冬休みとする。
- 取組内容:ハグだけでなく、肩組みやハイタッチ、握手、あたたかい言葉かけをして、親子でふれあう時間をとる。
- 記入について:冬休み期間中、ハグをした日に、○をつける。取組後、カードに、「親から子へ」「子から親へ」取組の様子を描いた絵を記入し、学校へ提出する。
- カードを回収し、成人家庭教育委員がチェックをする。
- 1月:「冬休みハグ週間を終えて」をまとめて、報告する。
- カードを保護者に返却する。

児童カード①

児童カード②

ハグ週間のまとめ



### <保護者の感想>

- 普段なかなか「ハグ」をすることがなかったけれど、毎日うれしそうに「ハグしよ♡」と言ってきて、その幸せそうな顔を毎日見ることができてよかった。
- ハグだけではなく、手をつないだり、肩を組んだり、一緒に寝たりと、普段からするが、コロナウイルスが流行している今でも、そういうことは大事なと思う。
- ハグした後、子どもが「ハグは幸せな気持ちになれる魔法だね。」と言った。あたたかい気持ちになった。ハグは魔法そのものだなと思った。これからもたくさんの魔法にかかろうと思う。
- 力いっぱいハグをしてみた。その分、「きずな」も強くなってきた。今だからこそ、たくさん触れ合って、支え合って乗り切っていこう。
- 「ありがとう」「おやすみ」など、何気ない一言がとてもうれしかった。これからも大切にしたい。



### 成人家庭教育委員による計画的活動

- ◎ 数年来継続している取組を意義あるものとして価値づけ、各家庭での取組を大切にしたい。
- ◎ ハグ週間を通して、親子のふれあいの時間を増やし、きずなを深めてもらえるよう、保護者をお願いをした。



### 家族の協力による取組

- ◎ 子どもたちが、保護者とハグすることで、心がぽかぽかあたたまったり、「ありがとう」や「おやすみ」などの言葉かけをすることで、笑顔でコミュニケーションをとることができた。